



グループ旅行代替行事



吉田光延 画

発行
 社会福祉法人いわき福音協会
 はまなす 荘
 いわき市平中平窪字二堂田2
 〒970-8002 ☎(0246) 8711
 編集責任
 はまなす荘新聞編集委員会

明けましておめでとござ
 います。
 新型コロナウイルス感染症
 の蔓延が始まってから三年が
 過ぎてしまいました。依然と
 高止まりの状態は続いていま
 す。はまなす荘でもコロナ感
 染対策を実施してき
 ましたが十二月初旬
 にクラスターが発生
 してしまい、皆さん
 にはご心配とご迷惑
 をおかけしました。
 幸い利用者も職員も
 重症化することな
 く、皆の協力のもと
 に収束することがで
 きました。楽しみに
 していた外でのクリ
 スマス・忘年会はや
 むなく中止し、荘内での食事
 会になってしまいました。こ
 の経験を活かしコロナとうま
 くつきあっていくしかないの
 かもしれない。行動制限の
 ない生活に戻りつつあるた
 め、今年は話し合いをしながら、



日々是好日
 所長：羽賀典子
 ら、行事や旅行等を進めてい
 きたいと思っています。
 連日コロナ関係の報道とロ
 シアによるウクライナ侵攻の
 影響による原油料価格の高騰
 や円高により輸入のコストが
 増大するなど物価が高騰し続
 けています。施設で
 の生活もムダのない
 よう節約に努めてい
 るつもりですが、削
 れるところにも限界
 があります。今後は
 利用者の生活にも影
 響を及ぼしてしま
 う不安があります。外
 出活動や荘内で使用
 する小遣い等の見直
 しも必要になってい
 ます。物価高騰も一
 日でも早く収まってくれるこ
 とを祈るばかりです。どんな
 時でも豊かな気持ちで生活が
 送れるよう支援していきたい
 と思っています。今年も宜し
 くお願いいたします。

南限の花
 ここ最近ふと思ったこ
 とで、自分の趣味って何
 だろうと考えた時ピンと
 くるものがなかった。
 アウトドアもインドア
 もなんでも楽しんでやれ
 る自信があるが、それも
 趣味と言えるほど深くの
 めり込むほどやった記憶
 がなかった。プライベート
 の時間を充実させるた
 めにはのめり込める趣
 味ってとても大事だと思
 う。今まさに趣味を探し
 出している最中で、新し
 いことをするきっかけと
 なっていて、様々な経験
 をすることができても
 楽しく過ごせている。こ
 こでふと思ったのが、自
 分の趣味って趣味を探す
 ことが趣味なのかという
 こと。最近そう思うよ
 うになってきた。
 これを機会にたくさん
 の経験を積んで、自分の
 人生に色をどんどん付け
 ていきたい。
 みなさんは趣味を楽し
 んでいますか？

自治会役員改選選挙

五月十三日(金)、令和四年度自治会役員改選が行われました。



今年度は、会長二名、副会長二名、書記一名の立候補がありました。投票の結果、会長には昨年度の接戦で惜しくも次点となった八巻隆さんが返り咲きました。副会長には、青木清さんと伊藤しのぶさん、書記は阿部恵子さんが選ばれました。今回の役員改選での新しい試みとして、公的選挙で使用されている記載台や選挙箱をいわき市から借用し、使用してみました。やはり、実物を見て・触れて・使っ

いわきのまちをきれいにする市民総ぐるみ運動



令和四年度のいわきのまちをきれいにする市民総ぐるみ運動を六月と十月に実施しました。新型コロナウイルス感染症防止の為にまなす荘としては、環境美化として施設内の草むしりを行いました。当日は晴れて蒸し暑い中、全員で草むしりを頑張りました。



草むしりをする人、ゴミ袋に草を集める人と分担し、熱中症の心配もあり長時間を避けての作業となりました。施設内もさっぱりと綺麗になり、最後はお楽しみ水分補給をして作業を終りました。

てみた事があるという経験は大事であると考えました。また、そういった経験が公的選挙でも活かされれば良いと思っていました。そして、七月に行われた「第二十六回参議院議員通常選挙」に参加した利用者さんたちは、投票を円滑に行う事が出来ました。

春のふれあいレクリエーション

六月十六日(木)に、みはま体育館にて春のふれあいレクリエーションが行われました。コロナ禍という事もあり今年度も利用者、職員のみでの開催となりましたが、紅組、白組に分かれ、利用者、職員共に白熱した戦いが繰り広げられました。競技は「ミニュージックケア」「運試しリレー」「玉入れ」の三種目を行い、笑いあり、喝采ありと競技を行っている側、応援している側の両方が楽しめていたのではないかと感じました。また、感染症、熱中症対策として消毒、換気、こまめな水分補給をすることで安全に行うこと

はまなす荘 夏祭り



七月二十八日(木)、食堂にて、はまなす荘夏祭りが今年度も行われました。今年度は、お好み焼き、焼き鳥、ソフトクリーム、かき氷の屋台が並びました。どれ



が出来ました。感染症が流行し、中々体が動かせない利用者にとってこういった機会はとても大事だと思います。保護者やボランティアの方々も参加出来るよう、いち早くコロナウイルスの流行が終わることを強く願っております。

も美味しく、利用者の皆さんは笑顔で食事を楽しんでいる様子でした。食べ物他には、くじ引きやエアースティック、うちわの出し物を出して、くじを引いて楽しんだり、欲しい絵柄のスティックやうちわを選んでいました。うちわは普通のうちわの他に、カラフルに光るものも用意し、とても好評でした。夏の定番とも云える「花火」も行い、夏の思い出となりました。天候が心配でしたが、無事雨降る事なく実施することができました。



● 普通救命普及講習

六月十七日(金)に、今年度一回目となる普通救命普及講習を実施しました。

心肺蘇生法・AEDの使用方法などの実技をメインに行い、救急車が到着するまで私達は何をすべきなのか、特に夜間は男女一名ずつの勤務体制であり、利用者の異常発見から心援・救急車要請・救命処置しながら報告・連絡をしなければなりません。講習を通して、何度も繰り返し練習を確認しても安心できるものはありません。

どんな時でも焦らず落ち着いて対応できるよう、日頃からイメージしておくことも大切なことだと思います。

今後定期的な講習を実施していきたいと思えます。



● コロナワクチン接種

思い返せば、大型客船から国内へウイルスが持ち込まれコロナ感染拡大が始まり、もう二年以上が経ち、ウイルスの変異も止まらず、いまだ終息のめどが立たない日々、飽き飽きしているこの頃です。

はまなす荘の利用者さんは、七月に四回目のワクチン接種が終わりましたが、果たしてその効果がどれくらいあるのか、また五回目接種があるのか、インフルエンザが何年も流行していないが、コロナも今回終息しても、インフルエンザ同様に毎年ワクチンを接種する事になるのか、職員員の四回目接種は、八月下旬〜九月初旬に行います。

これから私たちは、専門職としての自覚を忘れず、自分の行動には責任をもって感染予防対策継続に努めていきます。

● コロナ感染対策研修

マニュアルの読み合わせの中で、留意点や確認事項・新

たに決定した事・陽性者発症を想定した、別棟での感染対策(PPE・感染者への対応・食事面・リネン・感染ゴミ廃棄の仕方他)などを行いました。「自分も感染しない・感染源にならない」を常に意識して対応する事を職員には伝達しました。また感染者の数や特性・性別によって、はまなす荘の構造を踏まえたゾーニングも考察が必要であり、何より一番は、有事の際にこそチームワークが求められ、はまなす職員については問題なく対応出来ると思っています。

● はまなす荘 お楽しみ会

十月十三日(木)に、はまなす荘の食堂にて、はまなす荘お楽しみ会を行いました。

まず初めに、はまなす荘の職員に関する〇×クイズを行いました。皆さん、色々な考えを巡らせて、思い思いに〇×の札を上げていました。

その後、金魚すくいならぬ、アヒルすくいを行いました。皆さん、おもちゃのアヒルを、

● 秋のふれあいレクリエーション

十月六日(木)に、みはま体育館にて「秋のふれあいレクリエーション」を実施しました。春に続き、コロナ禍という事で、利用者のみでの開催となりました。今回は秋



の季節感を感じられるレクリエーションとして、ハロウィンの要素を取り入れたトリック・オア・トリートでお菓子をGET!レース」という競技を考えました。内容はハロウィンに関する絵柄のカードを引いたら、絵柄の物に変装した職員の前に行き、ハロウィン限定のお菓子の詰め合わせをGET!してゴールというもの、実際の当日は、変装した職員も大いに盛り上げながら、皆で一緒に楽しめたようでした。

楽しそうに上手にすくっていただきました。ゲームの途中では、お菓子やジュースもふるまいました。皆さん、おいしそうに味わっていました。

今回のお楽しみ会は、はまなす荘では初めての行事でしたが、皆さん楽しそうに過ごされていて、とても充実した行事になったように思います。これからはコロナに負けず、様々な行事を楽しんでいくかなと思います。



旅行代替行事



十一月十日(木)、昨年に引き続き、今年もグループ旅行は代替行事を実施しました。

昨年は日本一周でしたが、今回は「日本を飛び出せ! 世界一周スタンプラリーの旅!!」として、職員がガイドに扮し、世界の名所を巡る旅としました。名所のオブジェも「芸術の秋」という事で、空港、ピラミッドやモアイ

トピックス

カレンダー制作

はまなす荘の日中活動で「まぐら班」の利用者二十七名と職員九名で、四月から作成していた二〇二三年のカレンダーが完成しました。今年もコロナウイルス感染対策の為、ボランティアさんには郵送させていただき、法人の施設には手渡し出来ない事がとても残念で仕方ありません。今回作成したカレンダー



は、利用者さんが日中活動中に一生懸命作った作品を写真として添付させて頂きました。利用者さんには、それぞれの方法で取り組んでもらい充実した作品に仕上がりました。部数にもまた余裕がございますので、よろしければはまなす荘へお越しください。

New Face Introduction

職員紹介

- ①名前
- ②職種
- ③趣味・特技
- ④抱負



- ① 渡邊かおる
- ② 支援員補助
- ③ 手芸
- ④ 状況を判断しながら明るく楽しく活動していきたいです。



- ① 久田 祥子
- ② 支援員補助
- ③ 音楽鑑賞
- ④ 仕事を早く覚えて利用者さんのお役に立てるように頑張ります。



- ① 渡邊 誠司
- ② 生活支援員
- ③ ラーメン屋巡り
- ④ 適度に頑張る

自由の女神を各作業班で作成してもらいました。コロナ禍で外に出て身体を動かす機会が減っている中で、荘内ではありましたが、皆で歩きながら楽しんでもらえたかと思えます。また、季節を感じてもらうために「秋の味覚!お芋さん釣りゲーム」として、釣

りゲームをして、さらにお昼には芋を使ったスイーツを出して、「食欲の秋」も楽しんでもらえるようにしました。利用者の皆さんに感想を聞くと「美味しかった」「楽しかった」という言葉が聞けて良かったと思いました。

表彰

● 福島県社会福祉大会
会長表彰

坂本 大介

阿部 千代子

● いわき市総合福祉大会
会長表彰

菊地 貴史

寄附(順不同)

● 吉田 浩様

● 宇佐美修次様

● クレハ労働組合様

編集後記

あけましておめでとうございます。二〇二三年の法人標語は「日々新たに」です。新しい年を迎え、新たな目標を掲げて日々を有意義に過ごしていきたいと思えます。

卯年にちなんで、皆様にとっても飛躍の年になりますように。